

2024年度 若手 研修①（10月21日月曜日）

主旨）建設業界の特徴とそこで働くビジネスマンとして求められる姿を認識する。また、必要とされる知識（QCDS）を学び、PDCAの基礎を学ぶ。建築施工技術者としての定石・セオリーを学ぶ。

対象）建設業界で働く新卒ビジネスマン

効果）建設業界で働く新卒ビジネスマンとしてモチベーションを発揮し、自分の強みを発揮することにより貢献することを学ぶ。建築技術者のやるべき管理項目QCDSについて学ぶ。

時間	研修内容	進め方
9:00	はじめに、参加者自己紹介他	講義 参加者への 質問
9:10	1・建設産業の特徴 (建設業界の特徴とそのことに対する注意、対応を認識する。)	
	2・ゼネコンとは (特色、業務上の前提条件などを理解する。人とのコミュニケーション、情報伝達の大切さ、危うさを知る。QCDSの管理の上企業目標を達成することを学ぶ)	
10:10	3・会社が社員に求めるもの (顧客の存在、現場監督という技術者、地域・会社を取り巻く環境、社会人としての人間性・人間力の大切さ、モチベーション等)	
11:10	4・建築技術者に必要とされる知識 (QCDSとは、管理するとは、PDCA、5W1H等)	講義 参加者への 質問
12:00	休憩	
13:00	5・現場運営におけるケースタディー (ケーススタディーにおける行動、判断を検証する)	
14:10	6・Q：品質管理とは (顧客が求める品質、構造図から品質を読み取る)	
15:10	7・工程管理、施工計画とは (工程管理、施工計画概要を学ぶ)	
16:10	8・見積書とは、顧客とは (見積書の持つ意味と顧客との関係を学ぶ)	
17:00	終了 * 1時間ごとに原則休憩	

・オリジナルテキスト

2024年度 若手研修②（11月18日月曜日）

時間	研修内容	進め方
9:00	1・建設業法、産業廃棄物処理法、騒音規制法、振動規制法、その他各種届出	講義 参加者の回答
10:10	2・労働安全衛生法 （労働安全衛生法の基礎を学ぶ） ・責任体制の明確化、危害防止規準の確立、検査証、教育・資格、計画、建設重機類、型枠、掘削工事、土止支保工、墜落・飛来防止	
12:00	休憩	
13:00	3・ケーススタディー（現場における危険予知と安全指摘事項とその法的根拠を学ぶ）	グループワーク 講義 参加者の回答
14:00	（演習）安全日誌の記入	
16:00	4・地上躯体工事サイクルを学ぶ 躯体工事中の監督業務の整理	
17:00	終了 * 1時間ごとに原則休憩	

テキスト：工事編、マネジメント編

*現場全体工程表、直近の月間工程表（社内資料持参）

*社内 安全日誌

2024年度 若手研修③（12月16日月曜日）

主旨）建築工事の基礎工事の概要について学ぶ。

対象）建設業界で働く現場監督

効果）建築工事の基礎工事の流れを知り、課題演習を通じて、足場、杭について学ぶ

時間	研修内容	進め方
9:00	1) 地盤調査	講義
	2) 一般事項（請負約款他）	
	3) 共通仮設工事	
10:00	4) 直截仮設工事（外部足場）	
	（個人演習）	個人演習
	足場数量を積算する	
12:00	休憩	
13:00	継続	
14:00	5) 土工事、山留工事	
15:00	6) 地業工事	
	（個人演習）	
	現場造成杭コンクリート数量積算	
17:00	終了	
	* 1時間ごとに原則休憩	

*テキスト（工事編）

* 社内工事現場外部足場施工図

２０２４年度 若手研修④（１月２０日月曜日）

主旨）品質上の問題が存在していてもすぐに顕在化しないという躯体工事の危うさを強く認識し、配筋検査を行うための知識の習得を目指す。

対象）建設業界で働く現場監督

効果）躯体工事の大切さを強く認識し、品質管理のための知識を習得する。また、業務には準備・プランが重要であることを学び他の業務に生かす。

時間	研修内容	進め方
9:00	鉄筋コンクリート工事 1) 鉄筋コンクリート構造物の課題（課題の認識） (社)建築業協会 出版物、日本建築学会 鉄筋コンクリート造配筋指針より抜粋文章の説明	講義
9:30	2) 配筋要領図 かぶり厚さ、鉄筋のあき、スペーサー	参加者への質問
10:00	定着長さ、重ね長さ、基礎梁、柱、梁	講義
11:00	3) 個人演習 地中梁の加工寸法を考える	個人演習
12:00	休憩	
13:00	3) 個人演習継続	
14:00	コンクリート工事 4) 一般事項、要求品質～養生	講義 参加者への質問
16:00	5) 鉄骨工事概要	講義
17:00	修了 * 1時間ごとに原則休憩	

テキスト：工事編